

## 報道資料 プレスリリース

## 「命を守る」ということ～救急救命のいま・そして未来～

## 救急救命学専攻 2013年4月開設記念講演会

地下鉄サリン事件等の一連のテロ行為、また東日本大震災をはじめとした続出する自然災害などにより、人々の危機管理への関心はますます高まっています。

広島国際大学（秋山實利学長）は、来春、「医療技術学科 救急救命学専攻」を開設することを記念して、10月13日（土）にテロ・災害時の対応と備えに対する理解を深めてもらうため、特別講演会およびパネルディスカッションを開催します。

## 『サリン事件の真実』から危機管理を学ぶ

特別講演会では、毒物、化学・生物兵器の世界的権威であり、地下鉄サリン事件で警察の捜査に協力した危機管理の専門家『アンソニー・トゥー氏』を講師としてお招きし、事件解決までの経緯や化学・生物兵器の解説、事件の衝撃によって変革のもたらされた危機管理の実情について語っていただきます。

また、パネルディスカッションでは、地域防災、消防・救急活動および災害復旧活動にあたる現場の各視点から、東日本大震災の被災地での活動にあたった経験も踏まえて、東広島市総務部次長兼危機管理課長や東広島市消防局警防課長などの専門家から、その現状と展望についてご紹介いただきます。

※報道各社の皆様には、事前告知の機会がありましたら取り上げていただき、また当日もぜひ取材におこしいただきたくよろしく願います。

1. 日時：2012年10月13日（土）13:00～15:00
2. 場所：東広島キャンパス 講堂（東広島市黒瀬学園台 555-36）
3. テーマ：『「命を守る」ということ～救急救命のいま・そして未来～』
4. 講演会：「サリン事件の真実」  
アンソニー・トゥー氏（コロラド州立大学名誉教授、順天堂大学客員教授）  
※講演は日本語で行います
5. パネルディスカッション：「地域防災及び災害復旧活動の現状と展望  
～東日本大震災の被災地での活動を踏まえて～」  
パネリスト：橋本 明氏（東広島市総務部 次長 兼 危機管理課長）  
刺田 桂二氏（東広島市消防局 警防課長）  
向井 徳三氏（東広島市消防団 副団長）
6. 申込方法：代表者氏名、参加人数、代表者連絡先をご記入の上  
FAX（0823-70-4513）またはメール（shomu@ofc.hirokoku-u.ac.jp）、  
ハガキ（〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36）にて  
広島国際大学「救急救命学専攻開設記念講演会」係 宛に申込。

## ■内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 庶務課（山北） TEL：0823-70-4503

## ■取材の申し込み先・本件発信部署

広島国際大学 企画課（末政） TEL：0823-70-4922



# 「命を守る」 ということ

～救急救命のいま・そして未来～

地下鉄サリン事件等の一連のテロ行為、  
そして東日本大震災をはじめとした続出する自然災害などにより、  
危機管理への関心と重要性はますます高まっています。  
それぞれの現場で活動中の専門家に  
危機管理の現状と今後の展望を語っていただき、  
テロ・災害時の対応と備えに対する理解を深めませんか。



参加者  
募集  
(入場無料)  
詳しくは裏面へ



日時

2012年10月13日(土)  
13時00分～15時00分(開場12時30分)

会場

広島国際大学  
東広島キャンパス 講堂

広島県東広島市黒瀬学園台555-36

※会場に関しては裏面をご覧ください。

定員 先着1,000名 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。

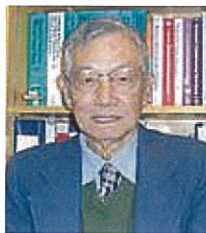
応募締切 10月5日(金)

## PROGRAM

【第1部】特別講演会(13:00～14:05)

### 「サリン事件の真実」

アンソニー・トゥー氏  
Anthony T.Tu  
(コロラド州立大学名誉教授・順天堂大学客員教授)



〈講演内容〉

毒物、化学・生物兵器の世界的権威として知られるアンソニー・トゥー氏。地下鉄サリン事件において日本の警察に捜査協力した経験に基づき、事件解決までの経緯や化学・生物兵器の解説、事件の衝撃によって変革もたらされた危機管理の実情を語っていただきます。

※講演は日本語で行われます

【第2部】パネルディスカッション(14:05～15:00)

### 地域防災及び災害復旧活動の現状と展望

～東日本大震災の被災地での活動を踏まえて～

〈ディスカッション内容〉

地域全般の危機管理を担う各機関のパネリストの視点から、地域防災、消防・救急活動および災害復旧活動の現状と展望等について、東日本大震災の被災地での活動経験も踏まえて語り合います。

パネルディスカッション後、  
アンソニー・トゥー氏に対する  
質疑応答コーナー

パネリスト

橋本 明氏  
(東広島市総務部 次長 兼 危機管理課長)  
刺田 桂二氏  
(東広島市消防局 警防課長)  
向井 徳三氏  
(東広島市消防団 副団長)

アドバイザー

アンソニー・トゥー氏  
(コロラド州立大学名誉教授  
順天堂大学客員教授)

コーディネーター

中島 正光  
(広島国際大学保健医療学部 教授)

◎主催／広島国際大学 ◎協賛／東広島市

◎後援／広島県・呉市・広島県消防長会・公益財団法人 広島県消防協会・社団法人 広島県医師会・社団法人 広島市医師会

お申し込み方法は裏面をご覧ください

常翔学園

広島国際大学

東広島キャンパス | 呉キャンパス | 広島キャンパス | <http://www.hirokoku-u.ac.jp/>

いのちのそばに。ひととともに。

常翔学園グループ 広島国際大学、大阪工業大学、摂南大学、常翔学園中学校、常翔学園高等学校、常翔啓光学園中学校、常翔啓光学園高等学校



「命を守る」ということ ～救急救命のいま・そして未来～



アドバイザー

アンソニー・トゥー氏  
Anthony T.Tu

- ・コロラド州立大学  
名誉教授
- ・順天堂大学客員教授
- ・2009年  
旭日中綬章受賞



毒物、化学・生物兵器の世界的権威として知られ、一連のサリン事件の際は警察当局にサリンの分析方法を指導するなど活躍した。2004年、日本初の危機管理学部を創設した千葉科学大学で教授に就任。現在は、順天堂大学の客員教授となる。著書に「生物兵器、テロとその対処法」(薬業時報社/2002年)「サリン事件の真実」(新風舎文庫/2005年)など多数。



パネリスト

橋本 明氏  
東広島市総務部 次長  
兼 危機管理課長

地域全般の危機管理を担う行政の視点から発言していただきます。



パネリスト

刺田 桂二氏  
東広島市消防局  
警防課長

消防・救急活動を担う消防機関の視点から発言していただきます。



パネリスト

向井 徳三氏  
東広島市消防団  
副団長

地域の消防活動を担う消防団の視点から発言していただきます。

## 応募要項

下欄にご記入のうえFAXでお申し込みいただくか、ハガキ・Eメールに必要な事項をご記入のうえ、下記の宛先までお申し込みください。

応募締切/10月5日(金)

※電話での受付はいたしません。

※申し込み受付後、自動的に受け付け完了となります。

代表者お名前	同伴者の人数	人
代表者連絡先 (電話番号)		
講演者に 質問等ございましたら お書きください  ※全ての質問にお答え 出来ない場合があります。	----- -----	

〈ご注意〉

※お車での来場も可能です(駐車場完備)。

※申込多数の場合は先着順とさせていただきます。定員を超えた場合のみ、折り返しお電話させていただきます。

応募先 広島国際大学「救急救命学専攻開設記念講演会」係

〒739-2695  
ハガキ 広島県東広島市黒瀬学園555-36

FAX 0823-70-4513

Eメール shomu@ofc.hirokoku-u.ac.jp

講演会に関するお問い合わせ先

TEL. 0823-70-4503

(受付時間/平日9:00~18:00)

※ご応募いただいた個人情報については、広島国際大学が責任を持って管理し、講演会の運営進行のみに使用します。



アクセス方法

西条駅から

- JRバス1・7番乗り場「広島国際大学行」  
「広島国際大学経由呉駅前」(所要時間約40分)

広駅から

- JRバス「賀茂医療センター行」(所要時間約35分)
- 広電バス[広交差点]停留所から「広島国際大学行」(所要時間約40分)

呉駅から

- JRバス西条・賀茂方面乗り場(5番)「賀茂医療センター行」(所要時間約60分)
- 広電バス7・8番乗り場「広島国際大学行」(所要時間約80分)

広島バスセンターから

- JRバスグリーンフェニックス便「広島国際大学行」(所要時間約90分)

広島空港から

- 芸陽バス「JR白市駅行き」→JR山陽本線[白市駅]  
→JR山陽本線[西条駅]→JRバス「広島国際大学行」(所要時間約60分)